

# つくる 育てる 採る

## 日本の漆文化を切り拓く

いま赤磐市で、漆を「植える、栽培する、採取する（漆かき）」に取り組んで7年になった。

岡山県内に止まらず、全国の漆に関わる人たちがネットワークを広げている中、ここ赤磐市はその中心的役割を担っている。

その場所は赤坂の大屋地区。過疎となり、山間部の農地の管理がままならない中、漆を植えて育てれば、商品として取引へつながることで、地域で注目されている。

「japan」と言われる世界的な文化財の漆の復活に取り組んできたお二人から、地域おこし、文化の発信地として壮大な夢のお話。



12月10日(日)

午前10時～正午

会場：大屋公民館  
赤磐市大屋 148-2

裏面参照

参加費：無料

講師：

坪井 恒久さん 赤磐の漆を守る会理事長

箕輪 啓三さん 漆アドバイザー

※講話の後、坪井さんの漆の植栽圃場、工房など見学会あり